



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月30日

上場会社名 株式会社メディカルー光 上場取引所 東  
 コード番号 3353 URL <http://www.m-ikkou.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)南野 利久  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)酒向 良弘 (TEL)059(226)1193  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日 配当支払開始予定日 平成26年11月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	12,969	16.9	661	6.3	670	12.5	428	25.2
26年2月期第2四半期	11,095	9.0	622	8.0	595	9.0	342	△38.8

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 518百万円(72.3%) 26年2月期第2四半期 301百万円(△52.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	223.66	—
26年2月期第2四半期	178.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	21,410	6,121	28.6
26年2月期	17,729	5,713	32.2

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 6,121百万円 26年2月期 5,713百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	57.50	57.50
27年2月期	—	30.00			
27年2月期(予想)			—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	13.7	1,280	1.8	1,210	0.8	700	2.1	365.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年2月期2Q	2,035,000株	26年2月期	2,035,000株
27年2月期2Q	118,917株	26年2月期	118,900株
27年2月期2Q	1,916,087株	26年2月期2Q	1,916,100株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢に改善が見られるなど、緩やかな回復傾向にありましたが、消費税率引き上げの影響や海外景気の下振れ懸念など、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、超高齢社会の進展に伴い医療・介護サービスの需要は拡大するものと捉え、安全性を最優先とし事業規模の拡大に取り組んでまいりました。

そうした中、調剤薬局事業におきましては、本年4月に行われました調剤報酬改定及び薬価改定により、過去にない厳しい事業環境となりました。一方、これまで先行投資を行ってきましたヘルスケア事業におきましては、収益体制が整ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高12,969百万円(前年同期比16.9%増)、営業利益661百万円(同6.3%増)、経常利益670百万円(同12.5%増)、四半期純利益は428百万円(同25.2%増)となり、前年同期に比べ増収増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、新規出店及びM&Aにより三重県2店舗、愛知県2店舗、静岡県1店舗の計5店舗が新たに加わり、店舗総数は92店舗となりました。

売上高は、当期出店に加え、前期(平成26年2月期)に出店した6店舗が寄与したことにより、10,528百万円(前年同期比6.9%増)となりました。利益面では、調剤報酬改定及び薬価改定などの影響により、営業利益は754百万円(同2.1%減)となりました。

#### (ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、本年3月に有限会社三重高齢者福祉会(三重県)、4月に株式会社ハピネライフケア(鳥取県)の全株式を取得しグループ会社化したことにより、居住系介護施設は20施設、700床(前期末9施設、450床)となり、また、訪問介護や通所介護をはじめ多様な介護サービスを提供する事業所が加わりました。

既存施設において入居者数が増加したことに加え、新規取得した子会社が寄与し、売上高は1,767百万円(前年同期比145.3%増)、営業利益は129百万円(同465.4%増)となりました。

#### (医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、ジェネリック医薬品使用促進策に沿って市場規模が拡大する中で積極的な営業を展開した結果、売上高636百万円(前年同期比30.2%増)、営業利益72百万円(同72.8%増)となりました。(内部売上を含む売上高は885百万円となり、前年同期比で25.9%増加しました。)

#### (不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高37百万円(前年同期比4.6%増)、営業利益28百万円(同53.2%増)となりました。

投資事業におきましては、有価証券売却益62百万円の計上を含め、効率的な運用成績を収めております。

なお、セグメント間の内部売上高として265百万円を消去するとともに、全社における共通経費として322百万円を計上しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は21,410百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,681百万円増加いたしました。

流動資産の合計は9,272百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,455百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加735百万円、売掛金の増加443百万円、商品の増加154百万円によるものです。

固定資産の合計は12,138百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,225百万円増加いたしました。これは主に、建物及び構築物の増加1,062百万円、土地の増加489百万円によるものです。

負債合計は15,288百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,272百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定を含む)の増加2,314百万円、短期借入金の増加168百万円によるものです。

純資産合計は6,121百万円となり、前連結会計年度末と比較して408百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益428百万円によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同現物(以下、「資金」という。)は4,712百万円となり、前連結会計年度末と比較して652百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、530百万円(前年同期比235百万円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益734百万円、減価償却費260百万円があったものの、売上債権の増加105百万円、たな卸資産の増加121百万円、法人税等の支払324百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、340百万円(前年同期比662百万円の減少)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入122百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出371百万円、事業譲受による支出134百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、463百万円(前年同期比162百万円の増加)となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金の純増加802百万円、社債の償還による支出200百万円、配当金の支払110百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の業績予想につきましては、平成26年4月7日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,059,556	4,795,162
売掛金	2,582,066	3,025,397
商品	922,458	1,076,487
その他	253,591	376,317
貸倒引当金	△1,100	△1,300
流動資産合計	7,816,572	9,272,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,272,615	5,335,014
土地	1,964,426	2,453,944
その他(純額)	242,649	656,980
有形固定資産合計	6,479,691	8,445,940
無形固定資産		
のれん	971,232	1,021,202
その他	210,093	222,979
無形固定資産合計	1,181,325	1,244,182
投資その他の資産		
投資有価証券	929,669	1,109,381
敷金及び保証金	517,139	587,517
その他	805,138	751,544
投資その他の資産合計	2,251,946	2,448,444
固定資産合計	9,912,964	12,138,567
資産合計	17,729,537	21,410,632
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	7,397	8,804
買掛金	3,181,590	3,138,089
短期借入金	—	168,307
1年内返済予定の長期借入金	1,822,061	2,261,877
未払法人税等	345,009	374,776
賞与引当金	130,393	169,319
その他	461,032	890,945
流動負債合計	5,947,485	7,012,118
固定負債		
長期借入金	5,402,117	7,277,035
退職給付引当金	371,407	416,730
その他	295,427	582,915
固定負債合計	6,068,953	8,276,680
負債合計	12,016,438	15,288,799

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	837,050	837,050
利益剰余金	3,991,418	4,309,804
自己株式	△199,265	△199,317
株主資本合計	5,546,203	5,864,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166,895	257,295
その他の包括利益累計額合計	166,895	257,295
純資産合計	5,713,098	6,121,832
負債純資産合計	17,729,537	21,410,632

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	11,095,429	12,969,599
売上原価	9,882,453	11,476,386
売上総利益	1,212,975	1,493,213
販売費及び一般管理費	590,675	831,472
営業利益	622,300	661,740
営業外収益		
受取利息	472	601
受取配当金	8,439	10,214
権利金収入	—	30,171
業務受託料	1,949	1,797
助成金収入	450	4,539
その他	3,256	13,048
営業外収益合計	14,567	60,373
営業外費用		
支払利息	34,286	44,046
その他	6,890	8,057
営業外費用合計	41,176	52,104
経常利益	595,690	670,009
特別利益		
固定資産売却益	—	955
投資有価証券売却益	17,268	62,790
負ののれん発生益	—	54,640
補助金収入	52,221	17,983
保険解約返戻金	—	22,024
特別利益合計	69,489	158,394
特別損失		
固定資産売却損	729	—
固定資産除却損	515	10,994
減損損失	—	10,427
固定資産圧縮損	52,221	17,751
役員退職慰労金	—	55,016
貸借契約解約損	1,000	—
特別損失合計	54,466	94,190
税金等調整前四半期純利益	610,714	734,212
法人税、住民税及び事業税	283,344	375,195
法人税等調整額	△14,880	△69,544
法人税等合計	268,463	305,650
少数株主損益調整前四半期純利益	342,250	428,561
四半期純利益	342,250	428,561



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	342,250	428,561
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41,006	90,400
その他の包括利益合計	△41,006	90,400
四半期包括利益	301,243	518,962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	301,243	518,962

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	610,714	734,212
減価償却費	176,208	260,358
減損損失	—	10,427
のれん償却額	49,844	57,317
賞与引当金の増減額 (△は減少)	18,267	34,680
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	20,399	19,340
受取利息及び受取配当金	△8,912	△10,816
支払利息	34,286	44,046
投資有価証券売却損益 (△は益)	△17,268	△62,790
固定資産売却損益 (△は益)	729	△955
固定資産除却損	515	10,994
負ののれん発生益	—	△54,640
保険解約戻戻金	—	△22,024
売上債権の増減額 (△は増加)	△189,081	△105,531
たな卸資産の増減額 (△は増加)	17,649	△121,857
仕入債務の増減額 (△は減少)	190,722	△80,805
その他	139,709	176,436
小計	1,043,784	888,392
利息及び配当金の受取額	8,801	10,645
利息の支払額	△33,897	△43,999
法人税等の支払額	△252,626	△324,542
営業活動によるキャッシュ・フロー	766,062	530,496
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△782,618	△371,694
有形固定資産の売却による収入	27,254	1,561
無形固定資産の取得による支出	△30,558	△21,638
投資有価証券の取得による支出	△212,777	△41,163
投資有価証券の売却による収入	41,428	122,590
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	61,854
事業譲受による支出	—	△134,043
長期前払費用の取得による支出	△657	△4,715
敷金及び保証金の差入による支出	△76,552	△41,705
敷金及び保証金の回収による収入	9,353	15,356
預り金の増減額 (△は減少)	△22,223	24,855
その他	44,339	48,198
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,003,012	△340,545

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	135,800
短期借入金の返済による支出	—	△333,332
長期借入れによる収入	1,200,000	3,100,000
長期借入金の返済による支出	△798,693	△2,099,504
社債の償還による支出	—	△200,000
リース債務の返済による支出	△4,487	△29,712
自己株式の取得による支出	—	△52
配当金の支払額	△95,805	△110,175
財務活動によるキャッシュ・フロー	301,014	463,022
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	64,064	652,973
現金及び現金同等物の期首残高	3,822,521	4,059,556
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,886,586	4,712,529

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,850,297	720,675	488,959	35,497	11,095,429	—	11,095,429
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	182	214,522	—	214,705	△214,705	—
計	9,850,297	720,858	703,481	35,497	11,310,135	△214,705	11,095,429
セグメント利益	770,189	22,934	42,013	18,404	853,542	△231,242	622,300

(注) 1 セグメント利益の調整額△231,242千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用236,856千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,528,290	1,767,482	636,682	37,144	12,969,599	—	12,969,599
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	182	248,803	16,200	265,186	△265,186	—
計	10,528,290	1,767,665	885,485	53,344	13,234,785	△265,186	12,969,599
セグメント利益	754,004	129,667	72,593	28,199	984,464	△322,724	661,740

(注) 1 セグメント利益の調整額△322,724千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用347,688千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。